

平成 28 年度 青葉区福祉保健活動拠点事業実績評価の実施について

1 目的

福祉保健活動拠点（以下、拠点）における事業水準の維持向上を図ることを目的として、平成 28 年度から事業実績評価を実施しています。

2 評価対象施設

(1) 名称

青葉区福祉保健活動拠点

(2) 所在地

横浜市青葉区市ケ尾町 1169 番地 22

(3) 指定管理者

社会福祉法人 横浜市青葉区社会福祉協議会

3 評価方法について

(1) 評価対象期間

平成 28 年 4 月～平成 29 年 2 月

(2) 評価期間

平成 29 年 3 月

(3) 評価内容

拠点の運営に関する事項について、ヒアリング及び事業実績評価用資料等に基づいて、評価を行います。

(4) 評価項目

28 年度の評価項目については、別紙 1 のとおりです。

4 評価結果について

評価結果については別紙 2 のとおりです。

平成 28 年度 青葉区福祉保健活動拠点事業実績評価結果

【評価の考え方】

評価	内容
S	・特筆すべき実績・成果が認められ、事業の実績が優良な施設 (点数評価に換算すると概ね 90%以上の得点の施設)
A	・事業の実績が良好であった施設 (点数評価に換算すると概ね 60%以上 90%未満の得点の施設)
B	・改善の必要性が多数認められ、事業の実績が良好でない施設 (点数評価に換算すると概ね 60%未満の得点の施設)

施設名	指定管理者 (受託者) 名	評価	評価内容
青葉区 福祉保健活 動拠点	(社福) 青葉 区社会福祉協 議会	A	<p>【1 場の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各団体からの個別相談を元に、地区支援記録シートを作成、データを蓄積しつつ、支援につなげることが出来ている。蓄積したデータをさらに分析し、他団体の支援などに応用してほしい。 窓口満足度調査を実施し、その後要望に対応することで、改善ができています。引き続き利用者が気持ちよく使えるようサービスの充実をお願いします。 利用団体懇談会を行い利用団体をつなげていくことができています。また、利用者団体が揃う場で、避難訓練を行うことで、より施設利用についての理解が深まる取組が良いです。来年度は計画通り 2 回開催し、より団体との関係を深めてください。 <p>【2 ボランティア業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> コーディネーターが地域のボランティア団体に出向き情報収集を積極的に行った結果として、ニーズに応える形での講座の企画・開催が出来ている。 ボランティアセンターの運営が変わりますが、引き続き丁寧なコーディネートをお願いします。 ニーズに応える形での講座の企画・開催の中で、活動の背景や必要性も含めた内容に組み立て、さらに講座終了者に向け既存団体の紹介や新たな団体の立ち上げを促し、実際の活動に繋げることが出来ている。 <p>【3 他の関連組織とのネットワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域アセスメントを区域に広げていくとともに、地域ケアプラザや区役所とも共有することで、青葉区の福祉保健の推進を引き続きお願いします。 拠点を活用して「こども食堂」の実施等、地域の福祉保健課題に対して支援ができています。今後はさらに生活支援コーディネーターを中心に、活動の幅が広がることを期待します。 <p>【4 ほか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化もある中で、日々の保守管理、小破修繕等に対し迅速に対応してくれました。非常勤職員についても日々のミーティングや研修が実施されています。現在の体制を継続できるようお願いします。

福祉保健活動拠点 事業実績評価 評価表

大分類	中項目	配点 (区評価者 3名)
1 場の提供	(1)場の提供を通じた関係性の構築・利用団体支援	9
	(2)拠点の利用促進に関すること	9
	(3)拠点のサービスの向上に関すること	9
	(4)利用調整会議等の開催	9
	小 計	36
2 ボランティア業務	(1)ボランティアに関する情報収集、分析、計画立案	9
	(2)ボランティアに関する広報、情報提供	9
	(3)ボランティアに関する相談、紹介	9
	(4)ボランティアに関する育成・支援・講座開催	9
	小 計	36
3 他の関連組織とのネットワーク	(1)関連組織及び地域との連携	9
	(2)地域の福祉保健課題への理解と協力	9
	小 計	18
4 ほか	(1)職員体制、育成	9
合 計		99

<評価の考え方>

①評価は以下の3段階の基準に基づいて行います。

「△」: 計画に基づき実施できていなかった、目標達成に不十分であった

「○」: 横浜市評価基準を達成している取組内容であった

「◎」: 福祉保健活動拠点独自の工夫により、効果的・積極的な取組を実施していた

②上記の評価結果に基づき、以下のとおり、点数に換算します。

△=1点、○=2点、◎=3点